

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ吉備中央

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点 改善目標	それを踏まえた対応
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1		・児童発達支援が一緒のため。	・旧保育園のため、小学生用のトイレの改修工事を行いました。今後に向けて、放課後等デイサービスの部屋を準備しております。
	2	職員の配置数は適切である	2	1			・職員の体制は指定基準を満たしています。保育士、児童指導員、社会福祉士、作業療法士等の資格を有したものが支援を実施しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	1		・玄関入口のバリアフリー化を検討したい（※現状利用者なし）	・職員トイレを含め、建物全体のバリアフリー化がなされています。玄関入口については検討中です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	1			・事業計画の中にも業務改善に向けたPDCAサイクルを大切にしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	2			・自己評価について、毎年ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2			・現在は第三者による外部評価を行っていませんが、療育に関しては、川崎医療福祉大学の諏訪先生の巡回スキルアップを受けており、指導やアドバイスを受けて、改善等の実施をしています。

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3				<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上に向けた研修の機会を多く確保しています。各スタッフの学びを深めることや支援の場で活かせることを大切にしております。 ・当法人の各事業所の管理者の視察アドバイスなどを通して業務改善を行っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3				<ul style="list-style-type: none"> ・根拠のある専門的な支援を心掛けています。また、保護者の思い、利用者様本人の思いを整理して作成することを心がけるようにしています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1			<ul style="list-style-type: none"> ・太田ステージ検査や視覚認知検査、心の理論検査など、様々なアセスメントツールを活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	1			<ul style="list-style-type: none"> ・先生とのお勉強では様々な活動内容に取り組んでいます。利用者様の興味関心や視覚的構造化など、工夫を通して楽しみながらも大切な学びを提供することを目指します。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇期間は平日にはできない活動を追加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日には宿題や発達面に関する取り組みを実施します。長期休暇では集団での活動プログラムも実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3				
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡会を昼に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的にお昼頃に連絡会を行い、情報共有をしています。支援の目的や具体的手立て、特性など、様々な情報も確認しております。

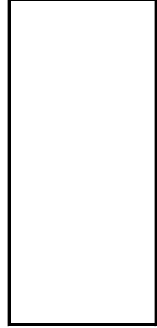
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	2		・終了後ではなく、昼の連絡会で実施している。	・上記同様の取り組みとなります。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3				・取り組んだ課題や特記事項などは記録に残し、必要に応じて氷山モデル、応用行動分析に沿って支援を検討しています。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3				・標準的に、6か月に1回の期間でサービス計画の見直しを実施します。根拠のある評価に基づき、確実な成長や課題を保護者の方と確認していきます。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	3					
関係機関や保護者との連	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1			・サービス担当者会議では管理者だけではなく、現場スタッフなど様々な職員が事前準備を行った上で参画し、情報の共有を行っています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	2	1			・イレギュラーなことが起きた際には各学校との電話連絡にて対応を行っています。非常に連絡がとりやすい関係性であると感じています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1	1		・医療的ケア児の利用希望者はいない。	・現状利用者はいらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1			・必要に応じて情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	1	1		・現在卒業者なし。	・現状利用者はいらっしゃいません。

連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		3		・研修に参加している。	・現在、スキルアップ研修として専門機関の先生による巡回相談の機会を設けております。個別のケースや療育全体の中での多くのご助言をいただき、すぐに実践に活かすよう心がけています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	1	・コロナの影響もあるが、地域行事を行ってきたい。	・地域との交流、活動の機会として法人としてこども食堂を1月より実施していきます。色々な人、世代交流も出来たらと期待しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2		・相談支援ファイルを書く会に参加している。	・吉備中央町障害者等地域自立支援協議会教育部会に参加し、相談支援ファイルを書く会の運営、就学学習会などに携わっています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		3			・保護者の方には活動のねらいや課題の達成度、その様子をご説明しております。つむぎでの取り組みを実生活や所属機関で活かせることを大切にしています。
保護者への説	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3			・年に6回程度の座談会を開催しております。 ・ペアレントトレーニングは1クール実施しています。 ・今年度よりふれあいペアレントプログラムも開催予定です。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		3			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		3			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	1	・座談会を年6回行っている。	・親の会ハッピーサークルの事務局を法人事務局がしています。 ・座談会や学習会等を通して保護者同士のつながりを大切にしています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		3			・意見、苦情、要望など、保護者からの情報は丁寧に聞き取り、早期対応を心がけています。

明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3				<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、つむぎ通信やつむぎフェイスブックを発行し、様々な情報提供を行っています。 ・ホームページもイベントや行事紹介ができるように変更をしました。
	35	個人情報に十分注意している	3				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3				<ul style="list-style-type: none"> ・言葉だけの説明ではなく、視覚情報なども合わせてお伝えしております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っている	1	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流、活動の機会として法人としてこども食堂を1月より実施予定です。ボランティア等も歓迎します。 ・講演会については地域の方にもご案内をしています。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3				<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や各スタッフへ防災情報などのメール配信を行います。また、各マニュアルについても書式化し、周知を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3				<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回、様々な種類の避難訓練を行っております。利用者様を交え、実践を意識して行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3				<ul style="list-style-type: none"> ・現在身体拘束の必要な児はいない。 <ul style="list-style-type: none"> ・契約をさせていただく際に身体拘束を行わないことを約束しております。しかし、1か月のアセスメント期間を経て切迫性、非代替性、一時性として身体拘束について検討の必要がある際には保護者様へご報告、ご相談をさせていただくようにしております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1			<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーについては書面確認を行い、アレルギーがあるものについては提供していません。

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3				<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットは原因追及、適切な対応が必要となります。シートを作成し、第一要因を明確にし、根本解決を大切にしています。今後もこの仕組みを大切にしていきたいと考えます。
--	----	---------------------------	---	--	--	--	--

(特非) 発達支援ネットワークつむぎH30. 9.1～



|